

2021年度スローガン

価値創造

～新たな価値が地域の明るい未来を照らす～

2021年度
一般社団法人 羽生青年会議所



一般社団法人羽生青年会議所
ホームページ

羽生市中央3丁目7番5号 羽生市民プラザ内
TEL&FAX 048-563-0900

<https://hanju.or>



2021年度 一般社団法人羽生青年会議所

第41代理事長

岡安 章隆 岡安製作所

世界中で猛威を振るい、国際社会から暮らしのあり方まで、あらゆる分野で人類に変革を迫る新型コロナウイルス。今後の社会像をどう創造していくべきか困難を極めています。感染の拡大は、グローバル化によって引き起こされ、予想よりも速くウイルスが感染していることは、いかにグローバル化で人の交流が激しくなったかを示しています。グローバル化の弱点を感じたが、今の社会は人やモノの移動、情報がグローバル化しなければ立ちいきません。豊かさや幸福がグローバル化に依存している以上、その流れは止まらないのです。

昨年、一般社団法人羽生青年会議所は40周年を迎えました。本来、記念式典や記念事業を開催する予定でしたが、新型コロナウイルスの影響により開催を中止という決断をさせて頂きました。その様な状況下でしたが、ビジョン2025は制定されました。その中の一文にある「誰でも成長できる環境創り」に対し、新たな価値を創造する重要な一歩を踏み出す年となります。しかしながら疲弊した経済状況、人口減少の流れは着実に進行し、今後メンバー数が減少することも予測されます。メンバーの家庭環境や仕事環境は一定に保たれず、青年会議所活動を行う事が難しくなるでしょう。このままでは青年会議所運動を持続的に行う事が困難になり、組織として存続していく事が難しくなると考えます。家族や職場の幸せ無くして青年会議所の理想とする明るい豊かな社会はありません。青年会議所活動を行う事によって、メンバーの家庭や仕事環境が良くなる必要があります。そのため、時代に合った組織改革をし、新たな価値を見出し組織運営の在り方を振り返る事が必要です。

「誰でも成長できる環境創り」仲間と共に成長し強固な組織へと進化し、持続的に青年会議所運動を行う事で、地域からなくてはならない存在となり「明るい豊かな社会の実現」が可能になると確信しています。

青年会議所に於ける経歴	
2005年	入会 特別拡大会議 委員
2006年	事務局 委員
2007年	郷土に貢献する経営者育成委員会 副委員長
2008年	地域交流委員会 委員 埼玉ブロック協議会 教育政策実践委員会 委員
2009年	拡大まちづくり委員会 委員
2010年	会員交流委員会 副委員長
2011年	総務委員会 委員長
2012年	拡大 skillup 委員会 副委員長 埼玉ブロック協議会 会員大会運営委員会 委員
2013年	地域交流委員会 副委員長
2014年	絆づくり委員会 委員長
2015年	総務委員会 委員長
2016年	地域再考委員会 副委員長
2017年	拡大研修委員会 担当 副理事長
2018年	総務委員会 担当 副理事長
2019年	総務広報委員会 担当 副理事長
2020年	監事

委員会紹介

新たな価値創造会議

議長 出井 光

(株)光建築



世界各国でSDGsという目標が浸透し動き始めてきた昨今、突如新型コロナウイルスの発生により国内でも感染が拡大し緊急事態宣言が発令され、当たり前のように行っていた活動も大きく様変わりしてきています。SDGsを推進し「明るい豊かな社会」の実現を捧げる我々が、意欲的に活動し、地域の人々と共に明るい話題を提供する運動を展開する必要があります。地域の未来を見つめ発展のためにリーダーとして率先して活動している羽生青年会議所の存在価値をさらに高め「価値創造」をもってこの地域の諸団体や、人々、そしてメンバーが誇りと希望をもち、明るい豊かな未来を照らしていく価値を創造します。

研修創造委員会

委員長 金子 裕多

(株)金子造園



時代の流れが早い現代においてグローバルかつIT文化は定着し、新型コロナウイルスの影響もあり、社会は新しい生活様式へと変わりつつあります。経済情勢は極めて不安定であり、私達青年世代が事業所の中核を担うビジネスの場においても、日々変化を問われています。メンバーが仲間と共に能動的に青年会議所活動を行い、経営を学び時代の変化に対応できる必要があります。メンバー一人ひとりが新たな価値を創造し経営者、指導者として自身の会社、事業所や地域の発展に繋がります。1年の活動、運動を通して、時代の変化に対応でき青年経済人として活力ある団体に、成長していると確信します。

総務創造委員会

委員長 小室 俊彦

三栄環境(株)



新型コロナウイルスの猛威によって社会情勢が変わった今、各々がその問題に向き合い、新たな価値観の社会像の変革に対応していくことが重要になっていきます。新たな価値が地域の活性化に繋がるには、心と心が繋がり合うメンバーがより良いまちを創りたいという思いが不可欠であり、地域の共感を得る運動を下支える安定した組織を構築が必要です。総務創造委員会の安定した組織の構築により、誰でも成長できる環境が整い個や地域の成長に繋がります。育LOMの導入で新たな組織が活性化されます。心と心が繋がり合うメンバーにより変革をもたらし、活動に専念できる環境を作ります。

スタッフメンバー紹介



直前理事長
駒澤 朋巳
(株)リガード



副理事長
長澤 允
SAMクリーン(株)



副理事長
金子 朋幸
近江堂



監事
峯寄 貴生
羽生市議会議員



監事
小林 誠弥
(株)トータルほけん室



専務理事
長澤 覚
SAMクリーン(株)



副議長
増田 悟士
(福)泉の会
いずみ保育園



副議長
谷島 栄太
(有)谷島商事



委員
尾澤 雅貴
SAMクリーン(株)



委員
尾本原 勇太
日本生命保険
相互会社



委員
齋藤 四大
(株)斎徳商店



委員
東宮 慎之介
(株)東宮興業



副委員長
岡田 弘樹
羽生市役所
市民福祉部社会福祉課



副委員長
高瀬 龍介
高瀬モータース



委員
秋元 周太
とんとん拍子



委員
飯島 友恵
カラオケ relie



委員
伊藤 彰洋
伊藤電気商会



委員
藤倉 宗一朗
(有)ゴーリキ



副委員長
石田 眞浩
石田架設



副委員長
木村 友貴
(株)木村周作商店



委員
丑久保 行紀
児童養護施設
あゆみ学園



委員
島田 和幸
東京海上日動あんしん生命保険(株)



委員
日比野 大輔
(有)大黒鮫



委員
藤井 聖憲
藤井工業